

薬効・薬価リスト平成29年版 追補
(平成29年8月29日告示・30日適用)

内 用 薬

先	アメナリーフ錠 200mg (マルホ)	200mg1錠	1,469.70 6250046F1028/622573501
---	------------------------	---------	------------------------------------

6250i 抗ヘルペスウイルス剤 アメナメビル

適応 帯状疱疹。

用法 1日1回400mg,食後経口投与。

禁忌 ①本剤(成分)に過敏症の既往歴②リファンピシンを投与中

併禁 リファンピシン(リファジン)

(薬価基準収載日:平29.8.30,投与:14日まで)

先	オルミエント錠 2mg (リリー)	2mg1錠 劇	2,694.60 3999043F1020/622573801
先	〃 錠 4mg	4mg1錠 劇	5,223.00 3999043F2026/622573701

3999i ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤 パリシチニブ

適応 既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)。

用法 1日1回4mg,経口投与。状態により2mgに減量。

注)中等度の腎機能障害患者:1日1回2mg,経口投与。

禁忌 ①本剤(成分)に過敏症の既往歴②重篤な感染症(敗血症等)

③活動性結核④重度の腎機能障害⑤好中球数が500/mm³未満⑥リンパ球数が500/mm³未満⑦ヘモグロビン値が8g/dL未満⑧妊婦・妊娠している可能性の婦人

(薬価基準収載日:平29.8.30,投与:14日まで)

先	カナリア配合錠 (田辺三菱=第一三共)	1錠	300.30 3969106F1028/622573601
---	------------------------	----	----------------------------------

3969J 2型糖尿病治療剤 テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物・カナグリフロジン水和物配合剤

適応 2型糖尿病(テネリグリブチン臭化水素酸塩水和物及びカナグリフロジン水和物の併用による治療が適切と判断される場合に限る)。

注)本剤は2型糖尿病治療の第一選択薬としての使用不可。

用法 1日1回1錠,朝食前又は後経口投与。

禁忌 ①本剤(成分)に過敏症の既往歴②重症ケトosis,糖尿病性昏睡・前昏睡,1型糖尿病③重症感染症,手術前後,重篤な外傷

(薬価基準収載日:平29.8.30)

※(揭示事項等告示)当品目は新医薬品の処方日数制限対象外。

先	ピブレッソ徐放錠 50mg (アステラス=共和薬品)	50mg1錠 劇	71.00 1179042G1025/622573901
先	〃 徐放錠 150mg	150mg1錠 劇	188.60 1179042G2021/622574001

1179i 双極性障害のうつ症状治療剤 クエチアピンプマル酸塩

適応 双極性障害におけるうつ症状の改善。

用法 1回50mgより開始,2日以上の間隔をあけて1回150mgに増量。その後さらに2日以上の間隔をあけて推奨用量の1回300mgに増量。いずれも1日1回就寝前,食後2時間以上あけて経口投与。

注)肝機能障害患者・高齢者:2日以上の間隔をあけて状態をみながら1日50mgずつ慎重に増量。

禁忌 ①昏睡状態②バルビツール酸誘導体等の中枢神経抑制剤の強い影響下にある者③アドレナリンを投与中④本剤(成分)に過敏症の既往歴⑤糖尿病,糖尿病の既往歴 **併禁** アドレナリン(ボスミン)

(薬価基準収載日:平29.8.30,投与:14日まで)

注 射 薬

先	ケイセントラ静注用 500 (CSLパーリング)	500国際単位1瓶 (溶解液付)	35,004 6343449D1024/622574201
---	-----------------------------	---------------------	----------------------------------

先	〃 静注用 1000	1,000国際単位1瓶 (溶解液付)	65,225 6343449D2020/622574301
---	------------	-----------------------	----------------------------------

6343 血漿分画製剤 乾燥濃縮人プロトロンビン複合体

適応 ビタミンK拮抗薬投与中の患者における,急性重篤出血時,又は重大な出血が予想される緊急を要する手術・処置の施行時の出血傾向の抑制。

用法 次の投与量を単回静注。〔体重100kg以下〕投与前のPT-INRが2~<4は25IU/kg,4~6は35IU/kg,>6は50IU/kg。〔体重100kg超〕投与前のPT-INRが2~<4は2500IU,4~6は3500IU,>6は5000IU。

禁忌 播種性血管内凝固(DIC)状態

先	ジフォルタ注射液 20mg (ムンディファーマ)	20mg1mL1瓶 劇	89,632 4229404A1027/622573401
---	-----------------------------	-------------	----------------------------------

4229i 抗悪性腫瘍剤 プララトレキサート

適応 再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫。

用法 1日1回30mg/m²,週1回,3~5日間かけて静注。これを6週連続で行い,7週目は休業。これを1サイクルとし繰り返す。状態により適宜減量。

注)①投与前に患者が次の基準を満たすことを確認/粘膜炎がGrade1以下,血小板数が初回時は10万/μL以上・2回目以降は5万/μL以上,好中球数が1,000/μL以上。②副作用を軽減するため,次のように葉酸及びビタミンB₁₂を投与/(1)初回投与日の10日以上前から葉酸として1日1回1.0~1.25mg,連日経口投与。投与終了日から30日間は継続。(2)初回投与日の10日以上前からビタミンB₁₂として1回1mg,8~10週ごとに筋注。本剤投与中は継続。

禁忌 ①本剤(成分)に過敏症の既往歴②妊婦・妊娠している可能性の婦人

先	スピラザ髄注 12mg (バイオジェン)	12mg5mL1瓶	9,320,424 1190403A1022/622567201
---	-------------------------	-----------	-------------------------------------

1190 脊髄性筋萎縮症治療剤 ヌシネルセンナトリウム

適応 乳児型脊髄性筋萎縮症。

注)SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し,SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることが確認された患者に投与。

用法 1回量,0~90日齢は9.6mg(4mL),91~180日齢は10.3mg(4.3mL),181~365日齢は10.8mg(4.5mL),366~730日齢は11.3mg(4.7mL),731日齢~は12mg(5mL)を,初回投与後,2週,4週及び9週に1~3分かけて髄腔内注。以降,4ヶ月間隔で投与。

注)早産児は在胎週数を考慮して用量を調節。

保険料 SMN1遺伝子の欠失又は変異を有し,SMN2遺伝子のコピー数が1以上であることを確認した遺伝子検査の実施年月日を診療報酬明細書の摘要欄に記載する(平29.8.29保医発0829第8号)。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴